

講義コード	20DCSh0101
講義名	比較文化学特論 I
講義開講時期	前期 1st Half
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
研究科等	文化科学研究科
専攻・プログラム	比較文化学専攻
科目区分	共通科目
授業を担当する教員	吉岡 乾
担当教員	
<b>氏名</b>	
吉岡 乾	

#### 授業の概要

フィールド言語研究入門 / 集中講義

フィールド調査では、自分の第一言語ではない言語を媒介として用いることが多いかと思えます。あるいは言語自体も研究の対象となることもあるかも知れません。しかも、それらの言語が語学書や辞書のない言語であるという可能性も大いにあるでしょう（例えば日本の方言だって、入門書がないことは多いですよ）。更に、そういった情報源から学べる「綺麗な」言語と、現場で用いられているリアルな言語との乖離も、ゼロな筈がありません。

この授業では、言語学の基礎を学ぶところから始め、言語学の考えかたを大まかに把握しつつ、実際に言語の簡易調査ができるようになるまで、3日間の集中講義形式で学びます。これにより、調査地で日々用いられている言語自体を知りはじめることが可能で、協力者の心をほどく一助になってまいります。（出席者の要望に応じて、初歩的調査のみならず、本格的調査までステップアップさせる気構えオプションも考えています。応相談。）

#### 到達目標

- ・ 言語学の基礎を身につける。
- ・ 言語のフィールド調査を始められるようになる。
- ・ 調査倫理を常に意識できるようになる。

#### 成績評価基準

	成績評価基準
成績評価基準	01:A,B,C,Dの4段階評価

#### 成績評価方法

ディスカッション（30%）、演習（30%）、レポート（40%）

#### 授業計画

- ① 言語学とは
- ② 音声学と国際音声字母（IPA）
- ③ 言語学基礎：音韻論
- ④ 言語学基礎：形態論
- ⑤ 言語学基礎：形態論  
//
- ⑥ おさらいと社会言語学
- ⑦ 言語学基礎：形態音韻論
- ⑧ 言語学基礎：統語論
- ⑨ 言語学基礎：統語論
- ⑩ 言語学基礎：意味論  
//
- ⑪ フィールド調査の心得
- ⑫ 調査してみる・させてみる
- ⑬ 改善点の検討
- ⑭ 調査してみる・させてみる
- ⑮ 調査してみる・させてみる～総括

#### 実施場所

国立民族学博物館（状況によりZoom）

#### 使用言語

現代共通日本語

#### 教科書・参考図書

特になし

#### キーワード

言語学、フィールド調査、音声学、研究倫理

